



くも合戦

かじき

No.400
昭和63年

2

月号

広報

題字 宇都宮町長

発行 加治木町
編集 総務課



元気にたこあげに興じる子供たち

手袋

手袋というと、子供のころお母さんが夜なべして編んでくれた手袋をはめて、霜柱を踏みながら登校した思い出の

ある方も多いと思います。手袋とひとくちにいいますが、形によっていろいろな名があります。五本指のものをグラブ、親指と他の四本の指とが別になっているものがミトン、指先がないものがミットです。

ところで、二月は省エネルギー月間です。このところ、比較的エネルギー事情がよいように見えるので、つい油断しがちですが、暖房の合理的な使用を心がけるなど、省エネルギー型の生活を習慣にしたいものです。

新春の空に虹のアーチ

町消防出初式

新春恒例の「町消防出初式」は一月十一日役場グラウンドで行われ、町消防団（大吉操団長、団員百六十二人）と四つの幼年消防クラブ員らが蒲生田通りなどをパレードし「防火」を呼びかけました。式典では、宇都宮町長や来賓の観閲を受けた後、消防団員による消防ポンプ操法や、幼年消防クラブ員（大迫弘樹隊長）による規律訓練などが披露されました。また、放水演習では新春の空に虹のアーチが描かれ、参加者は防火の誓いを新たにいたしました。表彰を受けられたかたがたは、次のとおりです。

▽消防庁長官表彰

福元 義治（中央分団 分団長）

▽日本消防協会会長表彰

有川 恭雄（錦江分団 分団長）

小宮路静哉（辺川分団 分団長）

▽県消防協会総裁表彰

上別府満幸（小山田分団 班長）

今吉 亨（西別府分団 団員）

今西 清春（錦江分団 団員）

▽県知事表彰

上荒磯 巧（中央分団 団員）

今蘭 健一（中央分団 団員）

藤元 秀春（中央分団 団員）

常盤 栄（中央分団 団員）

畠中 利夫（小山田分団 団員）

井上 重美（小山田分団 団員）

大串 義明（錦江分団 団員）

大野 秋夫（錦江分団 団員）

江口 治男（錦江分団 団員）

※以上は、昨年の消防記念行事の際、表彰状が伝達されました。

▽町長表彰

■勤続章（四十年）

竹内敬一郎（中央分団副分団長）

■勤続章（三十五年）

吉村 虎男（中央分団 班長）

■勤続章（三十年）

東 輝雄（西別府分団分団長）

内村 敏幸（西別府分団 班長）

瀬戸口義信（中央分団 班長）

入部 英行（中央分団 班長）

福岡 藤男（錦江分団 班長）

■勤続章（二十五年）

上猶 廣見（辺川分団 部長）

鹿島 一人（辺川分団 班長）

分団 省吾（中央分団 班長）

日高 利（中央分団 団員）

■勤続章（二十年）

今別府盛義（錦江分団 班長）

馬場 幸生（錦江分団 班長）

小宮路福吉（辺川分団 班長）

大宮路鶴美（辺川分団 団員）

増田 新（錦江分団 団員）

池上 時伸（西別府分団 団員）

■勤続章（十年）

西浜 春一（中野分団 部長）

築瀬 鉄憲（錦江分団 班長）

福永 正弘（錦江分団 団員）

竹之内秋宏（錦江分団 団員）

川原 正三（錦江分団 団員）

三宅 利広（小山田分団 団員）

切通 侃（中央分団 団員）

▽団員表彰

大串 敏之（錦江分団 団員）

内村 重義（西別府分団 団員）

日高 深（辺川分団 団員）

▽無火災表彰（出初式から一年間）

辺川分団（連続十七年間）

西別府分団（連続七年間）

錦江分団（連続二年間）

▽一般表彰

笹峯ミエコ（防火水槽設置協力者）

立山 経弘（幼年消防クラブ育成）

▽町長感謝状

岩穴口治男

（元小山田分団 副分団長）

白濱 隆雄（元錦江分団 部長）

池田 三郎（元錦江分団 団員）

有迫 三男（元中央分団 団員）

▽消防団長表彰

松尾 実（中央分団 団員）

▽町消防後援会連合会長感謝状

遠矢 美晴（元中野分団 団員）

新城 秀吉（元錦江分団 団員）

わたしの見た

加治木町《8》

当町にお世話になって、
 年半、ようやく地形・土地
 感を覚えるようになった今
 日です。
 日豊本線を境に以北は昔
 の武家屋敷の面影を偲ばせ
 る静かなたたずまいが残っ
 ているようでありませう。

昔からよく言われており
 ました「加治木ガラス」い
 ろいろな解釈はあるかと思
 いますが、元気に跳ね回る、
 町内に数多くの名所旧跡が



×プロフィール

いで湯の町・指宿市の御出
 身で、昭和22年に入社。県内
 を歴任され、61年7月に所長
 として加治木に赴任された。
 週末は、御自宅（鹿児島市）
 の30鉢あまりの洋ラン（シ
 ビディウム）の手入れに余
 念がないと……。
 月1～2回はゴルフにも

特色を生かした町づくり

九州電力(株)加治木営業所 吉崎喜郎 所長

ありますが、そのほとんど
 が埋もれているのではない
 でしょうか。
 先日、竜門滝の夜間照明
 設備が完成しましたが、こ
 れを第一歩として名所旧跡
 の整備を進めて、観光コー
 スとして活かすことも、活
 性化の一つとなるのではと
 思います。

活力ある町にするには、
 加治木の特色を生かした町
 づくりが必要であります。

行政に任すのではなく、町
 民の私たちが共に考え英知
 を結集して問題解決に当た
 るべきではないでしょうか。
 転勤族の私たちは、やや
 もすれば傍観者になりがち
 ですが、批判だけでなく、
 一住民として町発展のため
 に真剣に考えて、いろいろ
 な人々とのふれあいから協
 力して参りたいと考え、ま
 たお世話になっている企業
 の務めと言えらると思ひます。



そら行けーッ…

■個人戦：優勝吉村貢90歳▽二位堀切利男76歳▽三位垣内光夫68歳

郷土に残る正月の遊びを伝承してゆこうと、町老人クラブ連合会主催の第九回はまなげ大会が一月十二日、役場グラウンドで開催され竜門チームが優勝しました。大会には、手作りのポットを手に十一チームが参加し、五人づつに分かれてハマを打ち合う団体戦や、ハマが飛んだ距離を競うセコ打ちに熱戦を展開しました。結果は次のとおりです。

第九回はまなげ大会

竜門チームが優勝

参加もあり、昨年を十チーム上回る百十二チームが参加。中継所や沿道では、家族連れや地区の人たちが盛んな声援を贈っていました。結果は次のとおりです。

112チームが新春に健脚を競う

第21回町内一周駅伝競走大会

新春恒例の第二十一回町内一周駅伝競走大会が一月二十四日開催され、加治木小学校をスタート・ゴールとする七区間で健脚を競い合いました。大会には、鹿兒島や垂水市、隼人町など町外からのオープン



加治木小学校をスタート

【団体成績】
 優勝 加治木小学校
 二位 加治木工業
 三位 加治木中

【小学生男子の部】
 優勝 加治木工業 47分46秒
 二位 加治木中 47分54秒
 三位 加治木小学校 49分11秒

【中学生男子の部】
 優勝 加治木中 1時間15分50秒
 二位 加治木工業 1時間18分38秒
 三位 加治木中 1時間19分53秒

【高校生男子の部】
 優勝 加治木工業 1時間11分32秒
 二位 加治木工業 1時間17分56秒
 三位 加治木工業 1時間20分57秒

【小学生女子の部】
 優勝 加治木工業 54分30秒
 二位 加治木工業 56分55秒
 三位 加治木工業 57分6秒

【中学生女子の部】
 優勝 加治木中 1時間15分50秒
 二位 加治木工業 1時間18分38秒
 三位 加治木中 1時間19分53秒

【高校生女子の部】
 優勝 加治木工業 1時間11分32秒
 二位 加治木工業 1時間17分56秒
 三位 加治木工業 1時間20分57秒



声援がうれしい

【小学生男子の部】
 一区 日向真知子 8分53秒
 二区 有馬純子 7分51秒
 三区 藤井久美子 7分21秒
 四区 原 樹里 8分10秒
 五区 今西麻衣子 8分23秒
 六区 野間美智子 8分4秒
 七区 小松友美 4分52秒

【小学生女子の部】
 一区 堀切 亮 11分52秒
 二区 鳥丸一洋 12分28秒
 三区 前田高志 9分15秒
 四区 加治屋博之 10分34秒



けんめいの力走

【区間賞】
 優勝 日当山中B 1時間17分2秒
 二位 日当山中A 1時間17分6秒
 三位 走友会A 1時間18分36秒

【区間賞】
 優勝 日当山中B 1時間17分2秒
 二位 日当山中A 1時間17分6秒
 三位 走友会A 1時間18分36秒

【小学生男子の部】
 一区 川田純也 7分50秒
 二区 木原 健 6分53秒
 三区 飯野慎也 7分2秒
 四区 城村篤史 6分56秒
 五区 岩切勝造 6分54秒
 六区 宗像政輝 7分11秒
 七区 吉村拓実 4分10秒

【小学生女子の部】
 一区 日向真知子 8分53秒
 二区 有馬純子 7分51秒
 三区 藤井久美子 7分21秒
 四区 原 樹里 8分10秒
 五区 今西麻衣子 8分23秒
 六区 野間美智子 8分4秒
 七区 小松友美 4分52秒

【中学生男子の部】
 一区 加治木中 1時間15分50秒
 二位 加治木工業 1時間18分38秒
 三位 加治木中 1時間19分53秒

【中学生女子の部】
 一区 加治木中 1時間15分50秒
 二位 加治木工業 1時間18分38秒
 三位 加治木中 1時間19分53秒

【高校生男子の部】
 一区 加治木工業 1時間11分32秒
 二位 加治木工業 1時間17分56秒
 三位 加治木工業 1時間20分57秒

【高校生女子の部】
 一区 加治木中 1時間15分50秒
 二位 加治木工業 1時間18分38秒
 三位 加治木中 1時間19分53秒

【特別表彰】
 酒匂岩次(加治木走友会) 63歳
 有川 健(加治木合序) 50歳

248人の新成人を祝福

町成人式

満二十歳を迎えた新成人二百四十八人を励まし、祝福する町成人式が一月十五日、福祉センターで開催されました。

この日は、宮火長を先頭に、新成人の下楠園弘文さんと有村栄作さん、川田代圭子さん、藤

元真由美さんの四人が、友情・青春・信頼・奉仕の四つのともしびれを持って入場。全員がキャンドルを手に成人の誓いをたてました。式典では、乙須教育長が「二十代は長い人生の準備期間です。人生感の土台を築くとともに奉仕の心を育て、真の愛とは何かを追求して下さい」と式辞を述べ、また、宇都宮町長は「十二年後には二十



記念品を受ける飯田剛さん



成人の誓いをたてる

一世紀です。人生の目標をしつかりと定め、基本的な教養を身につけ自立自興の精神を培い、心豊かな社会生活を営んで下さい」と新成人を激励しました。

この後、新成人代表の飯田剛さんに福村教育委員長から記念品が贈られ、また、竹下司さんと川原さおりさんの二人が、力強く「私たちの抱負」を発表しました。

アトラクション『新成人に贈る祝福のしらべ』では、町文化協会員の都山流尺八始琳会と生田流琴歌寿紗会、若葉会、初音会の方々が「六段」や「都踊り」などのすばらしい演奏を披露。会場には、我が子の暗れ姿を見守る父母の姿も見受けられ、出席した新成人たちは大人の仲間入りをした感激と喜びに浸っていました。

また、この日新成人代表の安藤慶子さんから町に贈られた桜の木は、高岡公園に植樹されました。

牛深市の小学生十三人と文通

岩元ツミさん(西浦西)

西浦西の岩元ツミさんと、牛深市(熊本県)にある浅海小学校の三・四年生十三人との心温まる文通が、昨年からはじまっています。

これは、浅海小学校の子供たちが「文通をして下さい」と飛ばした風船を九月十八日、自分の畑で拾った岩元さんが「一通も返事が来なければ、子供たちがかわいそう」とさっそく返事を出したのがきっかけで、感激した子供たちからは自己紹介を兼ねた御礼の作文が届きました。また、「クリスマスに間に合うように」と御菓子を送ったところ、御礼の手紙と特産のミカンが送られてきました。



風船を拾った場所を指す岩元さん

岩元さんは「何年かぶりに手紙を書きました。一度に十三人の子供ができたみたいですね。子供たちも学年が変わるけれど、長く続けたいですね」と話されました。

双子牛が相次いで誕生

大脇修身さん・山口美津江さん宅

バイオ技術による多頭出産を目指し、二個の受精卵を移植した上木田の大脇修身さん所有の「第二さつき」と、鞍掛の山口美津江さん所有の「みちこ」の二頭が、昨年末相次いで双子牛を出産し「技術開発にめどがついた」と関係者を喜ばせています。

これは、県畜産試験場と県始良家畜保健衛生所が取り組んでいる



誕生した双子牛(山口美津江さん宅)

「双子牛生産技術開発」の成果といえるもので、家畜保健衛生所では「来年度はさらに着床率や出産率を高めたい」と話しています。

「ジョギング」で健康づくり

一足を忘れた新人類

「二本の足は二人の医者」ということわざがあります。二本の足で、安定した歩行やランニングができるのは、人間だけに与えられた特権といえましょう。

最近「足を忘れた新人類」などという言葉も出てくるような社会です。

太く、長く、しかも幸せな人生を過ごすために「健康ジョギング」を始めてみませんか。

一人でのジョギングから、家族や地域での「おはようジョギング」、一日の疲れをとる「夕暮れジョギング」などジョギングの輪を広げて健康づくりに励みましょう。

■楽しいジョギング六章

- (一) 走ることは遊びの世界である。
- (二) ゆっくり走りくせを身につけよう。
- (三) 走るにより日常生活の中で良くなったことを探そう。(例・食事モリモリ、仕事バリバリ)
- (四) 快適な自然環境を快適な心身状態で走ろう。
- (五) 続けることが宝である。
- (六) 疲れを残さないジョギングをしよう。

若い体験を立派に生かしたい

竹下 司さん(春日団地)

この式に臨んで、私は、今までに味わったことのない身の引き締まる感動と、そして、責任の重大



竹下 司さん

さを感じ、大人としての自覚をひしひしと覚えるのを押えることができませぬ。人生の大きな節目を迎えたのです。

私は、教育、文化、スポーツにおいて非常に水準の高いこの加治木町に生まれ、柁城小学校、加治木中学校そして鹿児島商業高校に進学しました。高校を卒業と同時に鹿児島信用金庫に就職し、二年を迎えようとしています。私は、小さいころからスポーツ

が好きで、中学校に進んでから本格的に野球に取り組みました。高校では、甲子園という大きな目標へ向けて練習、練習の毎日でした。

私が入学した鹿児島商業高校には、県下の中学校から優れた選手が集まってきました。私も野球が好きで甲子園に出場したいがために鹿児島商業高校に進学したので、絶対負けたくありません。夏は暑く、冬の寒さから、絶対負けたくありません。夏は暑く、冬の寒さから、絶対負けたくありません。夏は暑く、冬の寒さから、絶対負けたくありません。

しまったのです。それを境に緊張の糸が切れてしまったかのように練習にも張り合いがなくなりました。

そのような私を見ていたチームメイトの一人が「まだ夏があらよ、夏きばっか」と声をかけてくれたのです。私は、その一言で目が覚めました。今思えば、その友人の一言がなければ私は折れていたかも知れません。

私なりに、私の思い出の一端を申し上げましたが、これは、生い立ちこそ異なりますが、それぞれここに同席した我々に共通したものがあのではないのでしょうか。

私たちは、ここに晴れて大人の仲間入りをしたのです。これから先どんな人生が待ち受けているのか。私たちは、まだまだ未熟者です。しかし、今日まで得ました若い体験を社会人として立派に生かすよう一生懸命努力いたします。決意であります。どうか諸先輩方のおしみな御指導を賜りますようお願いいたします。

はたちの抱負

町成人式の席上、二人の方が発表された「はたちの抱負」を、紙面の都合により一部省略して掲載します。

自分に厳しく打ち勝つていけるか

川原 さおりさん (麓)

「成人式というのは、子が親元から東立ち、社会の一成員となり名実ともに独り立ちする記念の式

典、行事のほゞで、独立宣言といつてもいいのではないかと、新聞に出ておりましたが、私もその通りだと思えます。

私を含め、ここにいらつしやる皆様方の中に「自分はもう、立派な成人である」と自信を持って言い切れる方が、どれほどいらつしやるでしょうか。

とかく世間は、私ども若者に対し「なりは大きく、知識、学問などの面では進んでいるが、生活者

としての自覚や技術が身につけておらず、我が人生をどう考えるか日々の暮らしをどう築き、長続きさせるかといった具体的な人間としての生き方、営みについての能力に欠けているのではないかと、厳しい批判を浴びせまれます。果たして、このように言われる原因は、何なのでしょう。

それは、我々若者の心の中に潜む自分や親への、また社会へ対する甘えなのではないのでしょうか。

私は、今年四月から、小学校の教師として社会への第一歩を踏み出すことになりました。長い間のあこがれの職業ではありましたが現実のものとなった今、喜びよりも増して人を教育していく立場であることに対する責任を強く感じております。私たちがそうであったように、

汚れを知らない純粹無垢な子供たちは、私の物事に対する考え、振る舞い、教養などの全てを何の疑いもなく正しいと認め、私を師として頼ってくるのです。純白の子供たちを何色にも染められるのは、教師である私自身なのだということをお忘れなく子供たち

に接していきたくと思っています。私はまだ学生で、社会の真の厳しさというものを知りません。しかし、今後教師として様々な苦勞を克服していく中で、教育の難しさや現実社会の厳しさというものをもつて実感していくのではないかと思います。

人の心に潜む「甘え」の心理は人間である以上仕方のないことであるかも知れません。しかし、それを我々自身がどう克服していくか、どこまで自分に厳しく打ち勝つていけるか、これらのことが我々若者の今後を占う一つの鍵となってくるのではないのでしょうか。

新成人の皆さん、今日のこの晴れの成人式が形式ばかりとならぬよう、名実ともに真の独り立ちする記念の式となるよう、今日から共に努力していきましょう。



川原 さおりさん



新成人を祝う

望岳園にイワシ300匹を寄贈

錦海漁協

錦海漁協の春山鉄翁組合長と新原理事の二人が一月二十六日望岳園を訪れ、イワシ三百匹を寄贈しました。これは「お年寄りの方々に喜んでもらおう」と、その朝阿久根で水揚げされたばかりの新鮮なイワシを届けましたので、栄養士の久保さんに手渡しました。

イワシは、成人病を予防する成分を多く含んでおり、今が旬。

春山組合長は「これからも機会があれば新鮮な魚を届けたい」と話されました。



今夜の食卓が楽しみ

県漁業振興大会会長表彰を受賞

松田 繁美さん

錦海漁協の松田繁美さんが、一月十二日鹿児島市で開催された第

二十三回県漁業振興大会の席上、永年勤続役員として大会会長表彰を受賞されました。



表彰状を手に…松田繁美さん

これは、二十年以上水産業協同組合に勤務され、組合の健全な発展に寄与された方々に贈られるもので、松田繁美さんは、昭和四十一年五月に理事に就任。加治木・始良両町の漁協合併に貢献され、錦海漁業協同組合が設立された後は、筆頭理事として組合の運営と組合員の指導に尽力されており、地域漁業の振興に貢献されている功績が高く評価されたものです。大会では、鎌田知事から表彰状が松田さんに手渡されました。

ゴールデンロードランブル 金山道漫歩 11

女の詣でる処 (四) 弁天島

年の始めに「おたから、おたから」といって宝船の版画を売り歩く人がいた。この版画を買ってみると、金銀珠玉と共に七福神を乗せた帆掛け船が描かれ、上の方に「ながきよのとおねふりののみなめさめなみのりふねのおとのよさかな」という回文歌が書き添えてある。

これを正月二日の夜、枕の下に入れて寝ると、いい初夢を見ることがあるという風習があった。

ところで、笑みを含む七福神について述べることにしよう。

「恵比須・蛸子・夷三郎」は、鯛を釣る呼吸で人に接する寓意。「大黒天・大日如来・大白在

天」は、知恵袋を使い、槌をもつて働けば黄金の実があるという「毘沙門天・多門天」は万事をやり遂げる精神と健康を作る「弁財天・弁天」は弁がたち才のある美女、しつけこそ人間形成に大事なことと説く「布袋・長汀子」は唐代の禪僧で、度量をもつて人の上にたてば信頼を得る寓意

「福祿寿」は南国の寿星の化身で寿昌をつかさどるといって「寿老人」も寿星の化身で、世渡りに忍が処世術と教える。

この七福神にちなんだ毘沙門町（旧反土四百番台、現朝日町一四〇番付近）は、その昔、空元坊という山伏が、ある日浜辺を歩いていると伏木があったので掘り起こしてみると毘沙門天の木像であった。早速草堂を建て祀った所であり、彼は後に多門坊と改め、孫の村田勘右衛門が保護管理に当たっていた。時

移り、昭和二十五年ごろ町道拡張のためどこかに移され行方不明になった。藩政時代は毘沙門会所があり、明治三年学制制定のとき第八郷校となり、西南の役で焼失し、復興されたが明治十九年柅城小学校に合併さ



弁財天の祠（弁天島）

れ、その後は有為舎があった。また、西町の綱掛川河畔に恵比須神社があり、大字木田牟礼の前に弁財天が祀られていたと加治木郷土誌に掲載してある。

このように七福神を祀る社は多いが、舌出しから船出して東に見る神造島の真ん中の島が弁天様のおわします所として有名である。上陸して蒼々たる細道を行くと、弁財天の祠がある。だれがあげたか、化粧瓶が数多く小積みされている。弁財天の美と身にあまりかたい女性が奉納したものと思われる。

しばらくして帰途についていたが荒天となった。同乗の男女が弁天様がしつとしていてるぞと、さやきさやき入っていたのが懐かしい。

文と写真 松田 繁美 さしえ 新福 貢

河川愛護運動に貢献

加治木町建設同志会

知事表彰

河川愛護運動に協力されている加治木町建設同志会（岩澤英美会長・会員三十人）が一月十八日、県知事表彰を受賞されました。

これは、県が「水に親しむ気運を高め、地域ぐるみで河川を大切にすることを育てよう」と、河川愛護運動を進めている団体を表彰しているもので、加治木町建設同志会は、毎年雨期を前に、町内の河川の草払いやたい積した土砂の取り除き作業などを自主的に実施されており、その功績が高く評価されたものです。

表彰式は一月十八日、合同庁舎で行われ、奥ノ蘭忠志・加治木土木事務所長が「今後とも河川愛護



岩澤英美会長に表彰状を伝達

活動を続けていただきたい」と岩澤会長に表彰状を手渡しました。

毒草

キョウチクトウ

公園や街路樹、校庭、工場敷地などに植栽されています。

インド原産で、日本には享保九年（一七二四年）に渡来したとされています。

常緑で比較的大型の低木で、高さが約五層に達し、多く分枝します。夏、枝端から集散花序

を出し、淡紅色の花をつけます。赤や白、八重咲きもあります。キョウチクトウは葉が狭葉の竹に、花が桃に似ているので「狭竹桃」と書きます。

薬草



53

シヤクナゲ

本州中部以南、四国、九州の

心臓麻痺をおこします。

葉や樹皮に強心成分があり、すが、誤って飲食すれば、下痢おう吐、めまい、ひや汗などがおこり、脈搏が乱れ、ついには

深山、高山にはえる常緑低木で高さは四層に達するものもあります。

この材で作られたはしを使え

前田尊子さんが理事長賞

郵政省簡易保険局 写真コンクール

郵政省簡易保険局が募集した第十九回簡易保険・写真コンクールの小学生の部で九州からただ一人、萩原の前田尊子さんが簡保資金研究会理事長表彰を受賞されました。

これは、全国から応募のあった一万一千百八十二点の中から選ばれたもので、尊子さんの作品は、実窓寺公園のスベリ台で遊んでいた妹の聖子ちゃん（六歳）を題材とした「せい子」。また、博己さん



表彰を受ける前田尊子さん・博己さん

の作品は舟木橋で買い物袋を提げて歩く婦人を撮映、「任さがり」と題して出品されたものです。表彰状の伝達式は十一月七日加治木郵便局で行われ、山本一晴局長から手渡されました。



夫の背に頼りし月日古ごよみ
古江 重美
息災の証し一束賀状来る
加藤 白柳

木の実踏む音たしかなり峽のみち
内田美津代
あてもなく山に入りしが笹子鳴く
恒吉 斗南
柚子の香のかすかに旅の菓子もら
う
佐藤 玄酔
鶴田 耕

歳の市日差し傾く人ごみに
川崎 黒兎
鏡餅甲冑侍る書院の間
赤ん坊の足裏くすぐる秋日向
竹山 洋子
二日早やかなるき音立て洗濯機
佐々木かすみ
療養の友に賀状の筆重く
高木 正男

無料人権法律相談

鹿児島地方務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。秘密は固く守られます。

- ▽宮城俊治 反土一五四七
- ▽蔵王団地四七―二B―十四 (☎ 六三三三七七八)
- ▽中摩多美子 反土二七五六 (☎ 六二二二七六八)
- ▽岡山秀樹
- ▽錦江町二五三番地二 (☎ 六三二二七八八)

お知らせ



皆様の御愛顧と御協力に支えられ「広報かじき」は、今月号で、四〇〇号を迎えました。身近かなニュースや話題、地域のいろいろな出来事は総務課へどしどし御連絡下さい。

☎六二二二二二二二(内線六〇)

二人目から支給 児童手当

☑児童手当を受給できる人……
昭和六十三年四月一日からは、義務教育就学前の児童を含む十八歳未満の児童を二人以上養育している方で、収入が一定の額未満の場合に「二番目の児童」から支給されます。

正しい確定申告をお早めに

所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までとなっております。所得税は、あなた自身が正しく所得や税額を計算して、納税をするという申告納税制度をとっています。確定申告は、あなたの昨年一年間の事業や収入の総決算ともいえるものです。事業をしている方はもちろん、サラリーマンの方でも確定申告をしなければならぬ方

☑児童手当の額……
児童手当は、二番目の児童には月額二千五百円、三番目以降の児童には、一人につき月額五千円が義務教育就学まで支給されます。

☑請求の方法……
昭和六十三年四月一日に新しく対象となる方は、三月三十一日までに、町福祉課(公務員の方は勤務先)で申請手続をして下さい。
※「印鑑」が必要です。
▽問い合わせ先：町福祉課
☎六二二二二二二二(内線五十二)

は、所得金額や税額を正しく計算し、確定申告期限間は、大変混雑することが予想されますので、できるだけ、早めに申告をお済ませください。
また、還付を受けるための申告をされる方は、なるべく二月中にお越しください。
確定申告でわかりにくい点がありましたら、加治木税務署にお気軽にお尋ね下さい。
☎六二二二二二二二

春の全国火災予防運動

2月29日～3月13日

寒さが身にしみ込む季節になりました。何かと火を使うことの多いこの時期は火災が発生しやすいです。

二月二十九日から、春の全国火災予防運動が始まりますが「大丈夫ですか。あなたの火の用心」

- 1 少しでも気になったら火の元を確かめる、こうした日ごろの努力が生命と財産を守ります。
火の用心七つのポイント
寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- 2 子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- 3 風の強いときは、たき火をしない。
- 4 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 5 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 6 ふろの空だきをしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。

うぶ声

寒さが身にしみ込む季節になりました。何かと火を使うことの多いこの時期は火災が発生しやすいです。

出生児	保護者	自治会
山下 祥子	良朝	岩原西
山上 剛史	真一	田中
米倉 浩美	浩一	岩原東
油田 裕太	知裕	反土黒川
野迫 直也	貞実	東諏訪
加世田聖也	衆一	蔵王団地
藤原 里菜	久一	西江口団地
繁昌 あや	廣光	赤坂
久保 皓嗣	賢一	西江口団地

岡村 孝祐 利明 蔵王団地
郡山 ゆき 秀樹 赤坂
桃木野久美 充 蔵王団地
米谷 美里 秀男 弥勒
平良真希子 道明 赤坂
床波 宏和 美智也 赤坂
吉村 佳代 みずえ 里ノ下
城谷友里恵 俊和 西江口団地
岩崎 和美 勇 反土黒川
根本友里恵 清一 岩原西
永田さとよ 道雄 今町
▽一月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

- 香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。()内は故人。
- ☑町社会福祉協議会へ
- 三万円 天 神 吉村静江(夫) 米光 (六)
 - 一万円 垂ノ口 犬童準一(母ヒサ子) (六)
 - 三万円 里ノ下 川内恒敏(妻) 光子 (五)
 - 五万円 西塩入上 岡山明弘(母ミチエ八)
 - 三万円 西塩入中 立元康弘(母壽奈子六)
 - 五万円 下新道 武田貞雄(妻) 静子(五)
 - 三万円 西反土後 下枝久男(母キミ子七)
 - 五万円
- ☑町育英奨学資金へ
- 三万円 西塩入上 岡山明弘(母ミチエ八)
 - ▽一月二十日までの御寄付を掲載いたしました。(年齢は満年齢)
- 茶碗屋 猪俣ヨシエ(夫) 義範(七)
一万円 小 陣 堀ノ内新蔵
五万円 須崎 竹下俊夫 (義母) 内山ミ子 (七)

記事訂正とおわび

一月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

■八ページ「金山道漫歩」中一段目・行目及び二段目五行目：以た・以て↓似た・似て

■十ページ「ご寄付」中十三行目：(夫) 侃(七) (四)

(正) (夫) 侃(七) (四)